

## 外国出張報告書

平成 26 年 12 月 26 日

1. 出張国名      タイ
2. 出張月      平成 26 年 11 月～12 月
3. 出張目的      東北タイにおける低適性土壌改良試験に係る現地測定：C

#### 4. 成果の概要

コンケンにおいて 7 月から開始した、保水性の低い砂質土壌の苗畑に土壌改良資材（ベントナイト・炭）を添加してチーク苗を植栽する試験について、今回の出張では乾季初期のチークの成長と光合成速度、水利用特性に関する測定を行った。その結果、施肥（化学肥料）を添加した処理区では、午後に光合成速度、気候コンダクタンス、水ポテンシャルが大きく低下した。

このことから、化学肥料の使用はチークにとって水分不足になりやすい環境にすることが分かった。また、化学肥料を使用した処理区は、植栽直後に半数以上の苗木が枯死していることも明らかになった。一方、施肥をしなかった処理区の枯死率は 2% 以下であった。今回の測定結果から、炭のみを添加した処理区では、光合成速度も午後に低下せず、チークは水ストレスを受けずに高い光合成速度を示した。